

令和6年度府中市立府中第五中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ①課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む姿勢が十分に育っていない。
- ②話し合う活動を通して、考えを深めたり広げたりすることが十分にできていない。
- ③学習した内容について、分かった内容やよく分からなかった内容を見直し、次につなげることが十分にできていない。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①自分で考え、自分で取り組む課題が、指導計画において十分に設定されていない。
- ②考えを深めたり広げたりするための話し合い活動が、授業内において十分に設定されていない。
- ③振り返りの時間や、その内容を次の学習につなげるために活用するための指導が、十分に計画されていない。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

課題の解決に向けて主体的に考え取り組むことができる生徒、話し合い活動を通して自分の考えを深めたり広げたりすることができる生徒、学習した内容を見直して次の学習につなげることができる生徒の育成を目指す。

(2) 目指す授業像

自分で考えて取り組むことができる課題、考えを深めたり広げたりすることができる話し合い活動、次の学習につなげるための振り返りの時間が適切に設定され、その充実を図る単元計画に基づく授業の展開を目指す。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	「読むこと」を扱う単元においては、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする指導を充実させる。	美術	表現活動では生徒が内発的に主題を生成できるよう発想の指導を充実させる。 鑑賞活動では価値意識をもって作品のよさや美しさを味わうことができる指導を充実させる。
数学	数学の学習内容を生活に関連付けて捉えたり理解したりする活動を充実させ、生徒の数学を学ぶ意欲の向上を図る。	技術	技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、知識・技能の定着を図る。
社会	単元の振り返りにあたり、生徒の言葉から学習課題を設定し、その解決に向けた探究を主とした授業を指導計画に位置付ける。	家庭	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や技能が身に付くよう指導を充実させる。
理科	理科の見方・考え方を働かせ、観察・実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な基礎知識の指導を充実させる。	保健体育	家庭生活や社会へとつながる知識や技能の向上を図るとともに、走力、瞬発力、柔軟性、巧緻性、泳力、投力を主に総合的な体力の向上を図る。
音楽	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばす指導を充実させる。	外国語	目的や場所、状況などに応じて、外国語で簡単な情報や考えなどを理解し、これらを活用して表現したり伝え合うことができる力を養う。

(2) 生徒用タブレット端末の活用

タブレットの活用を通して、より深い学びの実現を図ることができる単元や授業を各教科で検討する。習得・活用・探究の諸場面において、情報検索、コミュニケーション、まとめ等のツールとして、タブレットを個別的・協働的に活用する。